

# JAAS News 第154号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2012年3月16日

＜ もくじ ＞	
1. WAM事業の講座『今から学ぶ、アクティブエイジングのすすめ』	1
2. 2012年度大会・総会概要のお知らせ	2
3. 研究会からのお知らせ	2
4. リレートーク『日に新た』第2回	3
5. 地域活動報告『つながろう！つなげよう！広げよう！』第1回	3
6. シニア社会学会からのお知らせ	4

## 1. WAM事業の講座『今から学ぶ、アクティブエイジングのすすめ』

平成23年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業「ICTによる高齢者孤立防止モデル普及事業」の一環として連続講座「今から学ぶ、アクティブエイジングのすすめ」も最終回となります。会員の皆様方の多数ご参加をお待ちしています。

近年、安心して生きがい満ちた毎を送り続けることを追及する学問である「老年学(gerontology)」が、東京大学を始めとして急速に広がりつつあります。

年齢を重ねてもアクティブに生き続ける為に、今から何が必要か？ 連続講座では、「自分でできるお金の備え」「発生などを通じた身体造り」「制度の有効利用」「社会からの孤立防止」をキーワードに専門家と共に学んでいきます。また、人間関係が縮小期にある高齢期に、コミュニケーションを充実させていくために開発されたICT機器(情報通信機器)の利用体験も企画しています。

ご両親やご自身の高齢期がそろそろ気になり始めた方は勿論、まだ先のことでとお考えの方も、この機会にご参加ください！！

主催：一般社団法人シニア社会学会

共催：社会福祉法人東京栄和会なぎさ和楽苑

会場：第1回～第3回：なぎさ和楽苑、第4回：清新町コミュニティ会館ホール

開催要領：下記ご案内をご参照ください(第4回のみ会場が変わります)

### ◆ 講座のご案内 ◆

2012年	連続講座第1回 2月23日(木) 14時～16時半	「今から考える老後のお金の話」 <b>終了</b> 講師：川村匡由(武蔵野大学大学院教授、当学会理事) 会場：なぎさ和楽苑1F喫茶スペース/40名程度
	連続講座第2回 3月1日(木) 14時～16時半	「音楽からアンチエイジング」 <b>終了</b> 講師：牧野俊浩(セラピー音楽家、当学会理事) 会場：なぎさ和楽苑1F喫茶スペース/40名程度
	連続講座第3回 3月15日(木) 14時～16時半	「改定後の介護保険を知る」 <b>終了</b> 講師：太田貞司(神奈川県立保健福祉大学教授) 会場：なぎさ和楽苑1F喫茶スペース/40名程度
	連続講座第4回 3月22日(木) 14時～16時半	「高齢期の社会的孤立防止とICTの可能性」 WAM事業(ICTによる高齢者孤立防止モデル普及事業) 報告会 会場：清新町コミュニティ会館ホール/120名程度

※各回ともご参加は無料です。要事前予約。お問い合わせ、お申し込みはシニア社会学会事務局まで。

## 2. 2012年度大会・総会概要のお知らせ

一般社団法人シニア社会学会の『2012年度 定時総会・大会』のスケジュール概要が決定しましたのでご連絡します。

開催日：2012年6月30日（土）

会場：お茶の水女子大学 本館3階 306教室

2012年度 一般社団法人シニア社会学会定時総会・大会プログラム概要	
時間	内容
＜第一部 一般社団法人シニア社会学会定時総会＞	
10:00～10:40	総会
＜第二部 一般社団法人シニア社会学会大会＞ 大会テーマ：「震災とまちづくり～今、私たちに何ができるのか」	
10:50～16:30	基調講演・パネルディスカッション等
＜第三部 懇親交流会＞	
16:30～18:00	懇親交流会（会場：お茶の水女子大学 生協食堂マルシェ）

## 3. 研究会からのお知らせ

### ◆第57回社会保障研究会の報告

1) 日時：2012年3月8日（木） 18:00～

2) 場所：高齢者生活協同組合会議室（光文社ビル6F）

3) 講師：阿部俊彦先生（早稲田大学 都市・地域研究所客員研究員）

4) テーマ：地域主体のまちづくり～気仙沼中心市街地、東京の密集市街地を事例として～

東日本大震災によって壊滅した気仙沼にボランティアとしてかわり、復興まちづくりに奔走した経験が語られた。元町民が戻ってこられるまちづくりが望ましいが、公共事業だけでは、町民によりそった対応ができない。しかし、自治体には、それを管理するだけの力がない。復興協議会等を中心に行政を含めて町民の有志が、専門家の指導のもと、復興まちづくりに挑戦することの必要性とともに、計画実現に際しての課題が述べられた。この震災を機に、東京の木造密集市街地では、防災体制の見直しの機運が高まっている。震災に備えた復興計画を地域コミュニティ主体で行うモデルケースとして中野区上高田の取り組みが紹介された。

（林 葉子 記）

### ◆第58回社会保障研究会のお知らせ

1) 日時：2012年4月19日（木） 18:00～

2) 場所：高齢者生活協同組合会議室（光文社ビル6F）

3) 講師：松田智生先生（三菱総合研究所 主任研究員）

4) テーマ：欧州に学ぶ 脱・無縁社会への挑戦

お問い合わせ、参加申込は事務局佐藤[fujiko11kasei11ocha@yahoo.co.jp]までご連絡下さい・

### ◆第2回「シニア社会の正義について語ろう」研究会開催のご案内

濱口研究会は、新・研究会がスタートしました。「21世紀の倫理」をより深く掘り下げることをコンセプトに、マイケル・サンデル著『これからの「正義」の話をしよう』（ハヤカワ文庫版）をたたき台にして、シニア社会の「正義」について語り合い、大きな曲がり角にある、いまの時代の生きかたを探ります。是非多数の方のご参加をお待ちしています。

- 1) 日 時: 2012年4月27日(金) 16:00~18:00  
(開催曜日にご注意ください)
- 2) 場 所: 早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ: マイケル・サンデル著『これからの「正義」の話をしよう』(ハヤカワ文庫版) 第2章の問題提起と討議。(仮)
- 4) その他: 研究会参加費として300円を徴収させていただきます。  
お問い合わせは、事務局島村までお願いします。

## 4. リレートーク 『日に新た』 第2回

リレートーク第2回目は、第1回目をご担当いただきました濱口副会長が座長を務められています「シニア社会の正義について語ろう」研究会会員・安田和紘氏です。

### 「シニア社会の正義について語ろう」の助走

濱口研究会では昨年来「21世紀の倫理」をテーマに、遂には某大学の学生達と図書館長やマネージャーまで巻き込んで19回に及ぶ白熱討論を展開した。その発展形となればやはりM.サンデル教授の白熱教室に行き着く。ならばその向うを張って「シニア社会の正義について語ろう」を計画、教材はもちろん、『これからの「正義」の話をしよう』(ハヤカワ文庫版)。シニアは団塊の世代を仲間に迎え、絶対的な多数派となる。選挙になれば多数は正義だ。M.サンデル教授は正義へのアプローチの第1に功利福祉主義者のアプローチ、福祉、すなわち社会全体の幸福を最大化することを挙げている。多数派のシニアの幸福を優先するのはもっともに思える。しかし第2のアプローチとして正義を自由と結びつけている。完全な自由市場で財やサービスを自由に交換すること。自由競争となればシニアに勝ち目は薄い。前回の5匹のサル例でいえば、シニアは恐らく1、2匹目である。だから老いる権利があると主張して当然ではないか、でも、それを支える少数派の若者達は苦労ばかりでリンゴは残っていないというのが本当かもしれない。ところが、1匹目も5匹目もシニア世代というのが現実だったりして、若者にとって明日が今日より良くなる見込みがなければ今の小さな幸せを追うのも仕方ないか。これからの議論になるけれど、正義ってどちらにも合理的な理由がありながら利害が対立するというジレンマの中に解決策を見出す努力のような気がする。美德という第3のアプローチに従い、公益と私益の両立を目指すソーシャル・イノベーションの具体化こそ正義だと思いたい。

## 5. 地域活動報告『つながろう! つなげよう! 広げよう!』第1回

当学会会員・非会員を問わず、日本全国各地で社会貢献活動をしている団体を紹介するとともに、団体同士の協働・連帯を目的として、情報発信をします!! 第1回目は、東日本大震災後1年が経過しましたが、未だ避難生活を余儀なくされている子どもたちの支援をしている「特定非営利活動法人こどもプロジェクト」です。

### 福島の子どもたちのためにできること

難病の子どもや家族を地域みんなで支える社会をめざして2004年より活動しています。3.11の東日本大震災以降は、都内に避難している子どもには学習支援とレクリエーションを、母親には情報提供をしています。東京には県外避難者が現在約9,000人おり、その内7,500人が福島からということです。福島は東北の中でも特に放射線被害を被っており、子どもたちへの影響やそれを心配する母親の気持ちは計り知れません。でも県外に非難する母

子は故郷を捨てたように見られ、本当にこれでいいのかと悩んでいる方もいます。罪悪感、劣等感、疎外感、などいろいろな感情を経験するのは、難病の子どもの母親の状況ととても似ています。私たちは、子どもが発病して「あの時私がこうしていれば・・・」と苦しむ母親をもうこれ以上作りたくありません。東京に非難されている母子が少しでも安らぎ、この新しい土地で人生を歩んでいくお手伝いをこれからも続けていきたいと思っています。東京に非難されている母子の支援に賛同される方はぜひご協力ください。



特定非営利活動法人こどもプロジェクト 代表：福田恵美

東京都新宿区北町30-1-503

URL：<http://kodomo-project.com>

E-mail：[info@kodomo-project.com](mailto:info@kodomo-project.com)

※本記事は当学会会員紹介・推薦により参考までに掲載しました。

## 6. シニア社会学会からのお知らせ

### ◆ 原稿の募集

リレートーク『日に新た』、地域活動報告『つながろう！つなげよう！広げよう！』の原稿を自薦・他薦を問わず広く募集します。詳細は事務局までお問い合わせください。皆さまからのご応募をお待ちしています。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
E-mail：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>